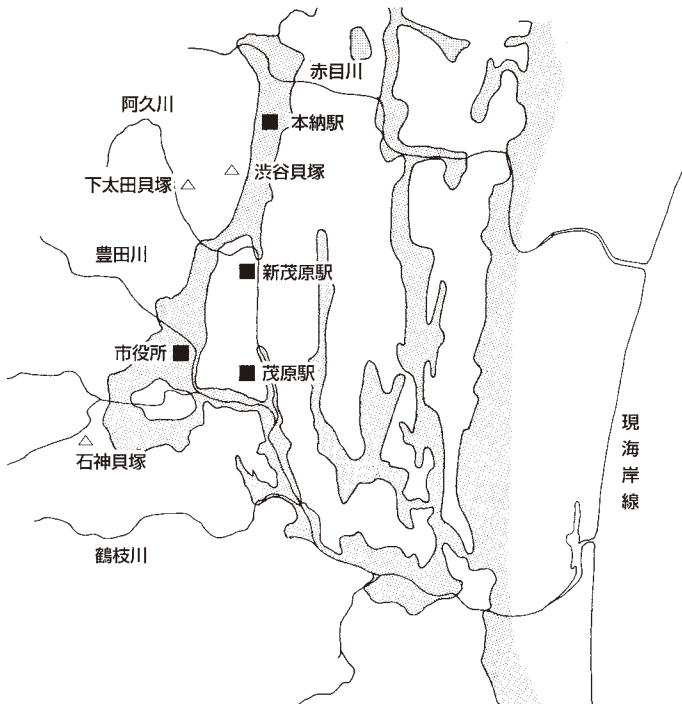


ハタロウイン 第87号
生涯学習情報
●連絡先●
生涯学習課
☎(20)1559

縄文時代の茂原は…

興味津々、事始め。今まで市内で発掘された貝塚の調査結果をもとに、今から数千年前の茂原の姿を想像してみよう。左の図は、貝塚が作られたころの茂原の推定地形で、砂丘の周辺に潟湖（ラグーン）が広がり、外海からの海水が流入していたようです。

縄文時代後期の茂原



貝塚について

後年になって、小高い塚のようなところを掘ってみたら、いろいろな貝や骨が出てきました。昔の人が復活を願って、そこに人を埋葬したり、食べ物としてまた帰ってきてほしいとの気持ちで、食べた貝や獣骨を貝塚に埋めたりしたようです。「塚」には墳墓や祠の意味がありますよね。

○えっ？わが家は海？

茂原の貝塚は縄文中期から晩期（今から四千年ほど前※諸説あり）のもので、

図示の地形図は、茂原貝塚ができたころの推定地形で、白い部分が陸地、灰色になっている部分は水の領域です。

貝塚は丘陵地付近にあり、貝塚よりも東側は潟湖の状態だったようです。地形図に現在の市役所やJR茂原駅（印）を示してありますが、なんと現在の住宅地のかかなりの部分は海水が入り込む地域だったという風景になります。

「ヒスイの首飾り」物語



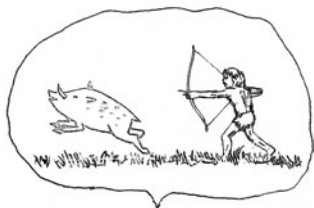
ヒスイ製 玉類
出土したヒスイ

茂原の貝塚から出たヒスイの耳飾りは、新潟県糸魚川付近から、交易で多くの人の手を経て届いたものでしょう。縄文のセレブ婦人が、青く輝く耳飾りを着けての登場。周囲からは羨望のまなざしが注がれて、遠く旅をしてきたヒスイも満足そう…

～古代はわたしたちの想像を刺激する
ロマンを秘めています～

○釣りや狩猟も

釣針も見つかっています。石の鏃（やじり）もありました。貝類のほかにも、幅広く食料を得ていた様子がわかります。釣りや狩猟は生きるための手段だったのでしょう。



渋谷貝塚出土の石鏃
絵は想像図

遺跡から発掘された遺物と言えば土器。その製法や利用の仕方も興味深いですね。



出土した土偶
表面の様子は衣裳説と文様説が

○おしゃれな服装は

衣類などがわかる遺物は見つかっていません。貝塚から発掘された土偶を見ると、何か身に付けているようにも見えますが、材料、デザインなどは不明です。

髪飾りやヒスイ玉などが発掘されましたから、おしゃれに着飾っていたのではないかと想像します。（次頁へ）